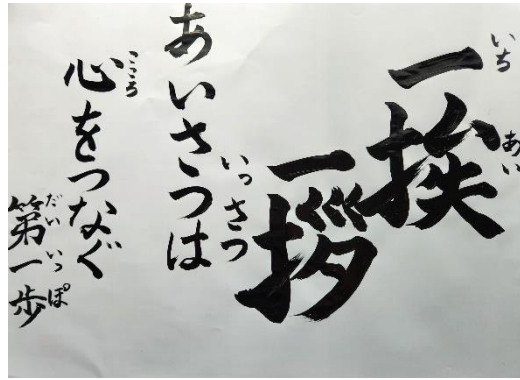


慶念寺々報

つなごがわい

慶念寺の掲示板 第三十三回



「二挨拶」

4月に入って、娘の小学校生活が始まりました。それによって、変わったのが生活リズム。今までは八時過ぎに二人の子どもたちを保育園に送っていたのですが、小学生になった娘は七時四十五分に家を出ていきます。その時間帯は、近所の子どもたちが小学校に出発する時間。各家庭から子どもたちが外に出てきて、集団になります。同じように出てくるのが私たち。ちよつとした人だかりが五分ほどの間できるのです。そこでは「おはようございまーす!」行っちゃいまーす!



す!」「行っちゃいまーす!」とたくさんの挨拶が飛び交います。自分の子ども。ご近所さんの子ども。中高生のお兄さんお姉さん、親同士も笑顔で挨拶。今年に入ってから、この輪の中に入りましたがとても良いものです。みんな笑顔で挨拶。ご近所さんがより身近に感じられるようになりました。

私が小学生のころの標語に「あいさつはここるところのつなぎあい」というものがありました。三十年近くたって、その標語の持つ意味を再確認しています。

挨拶の語源となるのは「二挨拶(いちあいいつさつ)」という禅の言葉です。師匠と弟子の間で押し問答をして修行の深さを試すことを意味します。「挨拶」も互いの心を推し量ることを意味し、それが転じて「おはよう」「いってきます」などの声掛けを表わす言葉になったのかもしれない。

同じ言葉でも、表情や言い方で相手の気持ちを推し量ることができるといいます。その応え方も様々です。地域によっては「おはようございます。今日もいい天気ですね」「ええ、おかげさまで」と答えるような地域もあるのだそう。様々な関わり合いの中で自分がある。他がなければ自らもまたないのです。

互いに日常的に声を掛け合っていることによって、ふとした時に話しかけやすくなるものです。「1人じゃない」という実感にもつながります。しかし、大人になると挨拶



をするか悩んでいるうちにタイミングを逸してしまうこともあります。だからこそ、子どもたちのするように自然に挨拶をする大切さと心地よさを再確認しました。「おはよう」「いってきます」挨拶とはちよつと違うかもしれないが「ありがとう」「ごめんね」「おかげさまで」そういった、単純な声掛けが他者との心地よいつながりをはぐくんでくれるのかもしれない。

公開講座を行いました



五月二十一日に多摩市民館にて第十五回公開講座を行いました。『歎異抄』も終盤で、内容も非常に難しかったのですが、南條先生のわかりやすい講義に皆様熱心に耳を傾けておりました。

この講座は、地域誌であるタウンニュースでもお知らせをしているのですが、今回から多摩区・麻生区版となったため、麻生区からも多くの方が参加をしてくださいました。

「今回が初めての参加だったけど、最初から学びたい」とうれしいお声がけもいただいております。

気軽に仏教・浄土真宗を学ぶことのできる講座をこれからも続けてまいりますので、ご予約あいましたら是非ご参加ください。次回は八月五日(月)午後二時から多摩市民館第一会議室での開催を予定しております。



終活講座を開催します



六月に、多摩市民館で川崎市発行のエンディングノート『未来あんしんサポーター』を用いて、終活の講座を開催いたします。ご講師は築地本願寺シニアマネージャーで、日本FP協会の上級ライセンスであるCFPの村瀬雅俊師に、実際にエンディングノート

を書きながら終活について考えていきます。「終活」というと「死ぬための準備」と思われがちですが、そうではありません。「どう終わっていききたいか」を通して「今をどう生きるのか」を考えることができます。興味本位で大丈夫。是非ご参加ください。別紙申込書・HPからお申し込みください。

発送作業のお手伝いをお願い

来月も、寺報の発送作業のお手伝いをしていただける方を募集いたします。

日時：令和六年六月二十三日 (日)

十四時から

場所：慶念寺本堂

内容：寺報等の封筒詰め作業

終了後、ご希望の方は駅までお送りいたします。

みんなでワイワイとおしゃべりしながらやっている発送作業です。寺報を折って封筒に詰めるだけ。時々子供たち参戦してみんな楽しく作業をしています。お時間ありましたら是非お越しくださいませ。



仏事について何かあったらまずお寺へ

ご法事に際しても、お葬儀に際しても、事前に日程を決めてからご連絡を頂くと、対応しかねる場合がございます。日程調整の上、予定を決めていきましょう。その際に疑問や質問がございましたら、遠慮なくお尋ねください。会場や葬儀社探しのお手伝いも致します。また日程や会場・葬儀社がお決まりでも、お寺への連絡は直接お願いいたします。

ご法事について

最近ご法事で皆様が悩まれるのが場所の問題です。慶念寺では、お寺だけでなくご自宅でのご法事や、お気軽にご相談ください。また、お布施に関しての質問等もお電話にてお尋ねいただきましたら、お答えいたしますので、こちらも遠慮なくお尋ねください。

お手紙下さい

おうちにあまっている便せんやハガキ、切手などがありませんでしたら、是非慶念寺にお手紙をください。住職や坊主がお返事をいたします。最近では、お手紙をいただくことも増え、本当に嬉しく思っております。日常の事、ご相談などなど。是非お寄せ下さい。

次回の法話会は

六月十六日 (日) 十四時から 慶念寺本堂

にて「定例法話会」を行います。皆様のお参り、心よりお待ちしております。

編集後記

五月は住職が所属している地区の仏教会の超宗派の法要で笙を演奏したり、川崎全体の仏教会の理事会があったり、慶念寺の公開講座を行ったりと行事が目白押しでした。住職は川崎市仏教会の庶務理事というお役目を頂戴しているので、なんだかあわただしいひと月となりました。

ゴールデンウィークが終わり、だんだんと生活リズムもつかめてきたころ。娘も息子も生活に慣れてきたのか、自分で判断して色々と動いてくれているので、坊主も住職も助かっています。

慶念寺では他にも皆様にお楽しみいただけるようなことを計画中です。まずは寺院化奉告参拝。先日は六月とお知らせしていましたが、七月二十五日に変更いたしました。普段公開されていない場所にも入れるよう手配しております。ぜひご参加くださいませ！



浄土真宗本願寺派 慶念寺 歓喜山

〒214-0012

川崎市多摩区中野島 4-24-2-5

電話：044-819-5482

FAX：044-819-5538

Email：mail@kyounenji.com

ホームページ URL

https://kyounenji.com/



慶念寺ホームページ QR コード